

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
家庭・家庭基礎	2	家庭基礎～自立・共生・創造～ (東京書籍)	とやまの高校生ライフプランガイド (富山県教育委員会)
科目の概要と目標	人間の一生と家族、福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上をはかる能力と実践的態度を身につけさせる。		
単元	学習内容	到達度目標	
はじめに	・家庭科を学ぶ意義	・人や社会との関わりや衣食住について関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。	
1. 自分らしい人生をつくる	・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ・目標を持って生きる ・人生をつくる ・家族・家庭をみつめる ・これからの家庭生活と社会	・各ライフステージの特徴と課題を理解することができる。 ・青年期の自己管理のあり方を考えることができる。 ・現代の家庭の機能、家族を考えることができる。 ・家族や労働についての基本的な法律を理解することができる。	
2. 食生活をつくる	・食生活について考える ・食事と栄養・食品 ・食生活の安全と衛生 ・生涯の健康を見通した食事 ・調理の基礎	・食べることを意味を知ることができる。 ・自分の食生活をふり返り、問題点を見つけることができる。 ・五大栄養素の特徴を知り、まとめることができる。 ・食品の特徴や調理の手順を考えながら、基礎的な調理技術を身につけることができる。	
3. 夏休みの課題	・ホームプロジェクト計画 ・ホームプロジェクト発表	・自分や家族の生活改善のためのホームプロジェクトを計画・実践・発表することができる。	
4. 衣生活をつくる	・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・これからの衣生活	・被服の機能を理解し、目的にあった被服の購入、着方ができる。 ・被服の素材の種類と性能を理解し、購入に生かすことができる。 ・「取り扱い絵表示」の意味、洗濯方法や洗剤の働き、漂白を理解し、適切な被服管理をすることができる。 ・衣服のリサイクル例、収納法を発表することができる。	
5. 子どもと共に育つ	・子どもの育つ力を知る ・親として共に育つ ・子どもとの触れ合いから学ぶ ・これからの保育環境	・子どもの魅力・世界をイメージすることができる。 ・子どもの心身の発達や生活、遊びの意義を理解することができる。 ・乳幼児期における親の役割の重要性を理解することができる。 ・地域の子育て支援策や児童福祉の理念を調べ、整理することができる。	
6. 高齢社会を生きる	・高齢者を理解する ・高齢者の心身の特徴 ・これからの高齢社会	・高齢者の心身の特徴や生活を理解し、高齢者を肯定的にとらえることができる。 ・高齢社会の現状と課題、高齢者の生活を把握し、考えを深めることができる。 ・高齢者の生活支援や高齢者福祉について調べ、まとめることができる。	
7. 住生活をつくる	・住生活について考える ・住生活の計画と選択 ・これからの住生活	・住まいの働きや現代の住まいの特徴を理解することができる。 ・家族のライフスタイルやライフステージにあった住居を選択することができる。 ・健康的で安全な住まいについてまとめることができる。	
8. 経済生活を営む	・職業生活を設計する ・計画的に使う ・国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ・消費行動と意思決定 ・現代の消費社会 ・これからの消費生活と環境	・経済について関心を持ち、家計収支の構成や特徴を理解することができる。 ・多様な販売方法について理解し、適切な判断、対応をすることができる。 ・消費者被害の例を知り、消費者の権利と責任について理解することができる。	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
家庭・家庭総合	4	家庭総合～自立・共生・創造～ (東京書籍)	とやまの高校生ライフプランガイド (富山県教育委員会)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化への対応や持続可能な社会の構築、食育の推進、男女共同参画社会の推進等を踏まえて、家族や家庭の生活の営みを人の一生とのかかわりの中で総合的にとらえ、マネジメントする能力を身につけさせる。 ・実習や課題研究を重視し、自発的な学習態度や問題解決の能力を身につけさせる。 		
単元	学習内容	到達度目標	
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科を学ぶ意義 	<ul style="list-style-type: none"> ・人や社会との関わりや衣食住について関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。 	
1. 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活について考える ・食事と栄養・食品 ・食生活の安全と衛生 ・生涯の健康を見通した食事 ・調理の基礎 ・食生活と文化 ・これからの食生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージにおける食生活の特徴や課題について理解できる。 ・青年期の食生活の特徴と重要性を理解できる。 ・日常用いられる食品の栄養的特質や、調理上の性質について理解できる。 ・食事の計画を立て、調理実習を通して様々な調理の技法を習得することができる。 ・安全と環境に配慮し、主体的に食生活を営む態度を身につけることができる。 ・食文化に関心を持つことができ、日常の食事のみならず様々な地域や外国の食文化についても関心を広めることができる。 	
2. 自分らしい人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ・目標を持って生きる ・人生をつくる ・家族・家庭をみつめる ・これからの家庭生活と社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題である自立や男女の平等と協力などについて認識し、生涯を見通した青年期の生き方について考えることができる。 ・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉について理解できる。 	
3. 子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・親として共に育つ ・子どもとの触れ合いから学ぶ ・これからの保育環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達と生活、福祉について理解することができる。 ・親の役割と保育の重要性について理解し、子どもを生み育てることの意義や子どもとのかかわる重要性について関心を持つことができる。 	
4. ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクト計画 ・ホームプロジェクト発表 ・地域の高齢者との交流 ・介護予防活動の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の生活改善のためのホームプロジェクトを計画・実践・発表することができる。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連させて生活上の課題を設定し、解決のための計画立案、実践できる能力を身につけることができる。 	

単元	学習内容	到達度目標
5. 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・被服を作る ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と衣服のかかわりを衣生活の文化と関連して考え、理解することができる。 ・被服の機能、着装、被服管理について、被服材料や被服の構成とかかわって科学的に理解することができる。 ・安全と環境に配慮し、主体的に衣生活を営む態度を身につけることができる。 ・興味・関心をいかして、衣服の製作につながる縫製技術を習得することができる。
6. 高齢者社会を生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期を理解する ・高齢者の心身の特徴 ・高齢者を支える ・これからの高齢社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴や高齢社会の現状、福祉について理解することができる。 ・高齢者の自立生活の支援の方法や豊かな高齢期を迎えるしくみについて考えることができる。
7. 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活について考える ・住生活の計画と選択 ・住生活の文化 ・これからの住生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、地域及び社会で支え合う暮らしについて考えることができる。 ・住居の機能、住空間の計画、住環境、住文化について理解することができる。
8. 共に生き、共に支える	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と福祉 ・共に生きる ・社会保障の考え方 ・ユニバーサルデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの有無、性別、年齢に関わらずお互いの違いについて認め合い、共によりより生活を営む方法を考えることができる。
9. 生活を設計する	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通す 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のこれからの家庭生活を設計し、社会の一員として自立について考えることができる。
10. 経済生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活を設計する ・計画的に使う ・国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ・消費行動と意思決定 ・現代の消費社会 ・消費者の権利と責任 ・これからの消費生活と環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済生活について理解し、生涯を見通した経済管理や計画の重要性について認識することができる。 ・職業や雇用形態による働き方や経済力の違いについて理解し、自己の卒業後の進路について考えることができる。 ・収入と支出をもとに家計管理の方法を考えることができる。 ・消費生活においての問題について理解し、トラブルを避けるための行動について関心を持つことができる。
11. ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクト計画 ・ホームプロジェクト発表 ・地域の高齢者との交流 ・介護予防活動の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の生活改善のためのホームプロジェクトを計画・実践・発表することができる。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連させて生活上の課題を設定し、解決のための計画立案、実践できる能力を身につけることができる。

教科	科目	単位数	教科書	使用教材
家庭	生活産業基礎	2		生活産業基礎(実教出版)
科目の概要と目標		衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や、関連する職業への関心を高め、必要な知識や技術を進んで習得し、職業人として活用する意欲と態度を身につけさせる。		
単 元	学 習 内 容	到 達 度 目 標		
1. 「生活産業」を学ぶに当たって	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活産業基礎」を学ぶ目的 ・「生活産業」とは ・生活産業で働く人に求められること ・生活産業のスペシャリストへの道 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉科に入学してきた意義を理解できる。 ・自分自身の日頃の生活と産業との関わりを理解できる。 ・専門的な知識や技術がどのようにして身につけられ、どのように生活産業の中で活躍しているのか理解できる。 ・専門科目を学ぶ意義と職業との関わりを学習できる。 		
2. 生活の変化と生活産業	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と産業の関わり ・社会の変化とライフスタイルの変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本標準産業の分類を学び、第1次産業、第2次産業、第3次産業の変化と生活の変化のかかわりについて理解することができる。 ・社会の変化を7つの項目から考え、人々のライフスタイルや働き方が多様化していることを理解できる。 		
3. 生活に対応した商品 ・サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズの把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに関する情報の収集・分析や市場調査の方法について理解したうえで商品の企画・開発、サービスの提供などの仕組みを説明できる。 		
4. 生活産業と職業 (食生活関連分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活関連産業の職業と資格 ・食生活の変化と生活産業の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活関連産業の職業や資格を調べ、興味・関心を持つことができる。 ・現代の食生活の課題を知り、食生活関連産業との関わりを理解できる。 		
5. 生活産業と職業 (衣生活関連分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活関連産業の職業と資格 ・衣生活の変化と生活産業の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活関連産業の職業や資格を調べ、興味・関心を持つことができる。 ・衣生活の変化を知り、ファッション産業の現状を理解できる。 		
6. 生活産業と職業 (住生活関連分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活関連産業の職業と資格 ・住生活の変化と生活産業の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活関連産業の職業や資格をしらべ、興味・関心を持つことができる。 ・インテリアコーディネート の意義と役割を理解できる。 ・住生活の変化を学習し、現代に求められる住生活の質について考えることができる。 		
7. 生活産業と職業 (ヒューマンサービス関連分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンサービス関連産業の職業と資格 ・社会の変化とヒューマンサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉、社会福祉、幼稚園教諭、ベビーシッターなどの従業者に求められる資格を知り、興味・関心を持つことができる。 ・我が国の社会福祉、介護、子育てに求められるヒューマンサービスについて考えることができる。 		
8. 職業生活と自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活と生きがい ・将来の生活と学業 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活が自己実現につながることを理解できる。 ・将来設計と進路計画について考え、学習の意欲を高めることができる。 		

教科	科目	単位数	教科書	使用教材
家庭	生活産業基礎	2		生活産業基礎(実教出版)
科目の概要と目標		衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や、関連する職業への関心を高め、必要な知識や技術を進んで習得し、職業人として活用する意欲と態度身につけることができる。		
単元	学習内容	到達度目標		
1. 「生活産業」を学ぶに当たって	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活産業基礎」を学ぶ目的 ・「生活産業」とは ・生活産業で働く人に求められること ・生活産業のスペシャリストへの道 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉科に入学してきた意義を理解できる。 ・自分自身の日頃の生活と産業との関わりを理解できる。 ・専門的な知識や技術がどのようにして身につけられ、どのように生活産業の中で活躍しているのか理解できる。 ・専門科目を学ぶ意義と職業との関わりを学習できる。 		
2. 生活の変化と生活産業	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と産業の関わり ・社会の変化とライフスタイルの変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本標準産業の分類を学び、第1次産業、第2次産業、第3次産業の変化と生活の変化のかかわりについて学ぶことができる。 ・社会の変化を7つの項目から考え、人々のライフスタイルや働き方が多様化していることを理解できる。 		
3. 生活に対応した商品 ・サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズの把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに関する情報の収集・分析や市場調査の方法について理解したうえで商品の企画・開発、サービスの提供などの仕組みを説明できる。 		
4. 生活産業と職業 (食生活関連分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活関連産業の職業と資格 ・食生活の変化と生活産業の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活関連産業の職業や資格を調べ、興味・関心を持つことができる。 ・現代の食生活の課題を知り、食生活関連産業との関わりを理解できる。 		
5. 生活産業と職業 (衣生活関連分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活関連産業の職業と資格 ・衣生活の変化と生活産業の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活関連産業の職業や資格を調べ、興味・関心を持つことができる。 ・衣生活の変化を知り、ファッション産業の現状を理解できる。 		
6. 生活産業と職業 (住生活関連分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活関連産業の職業と資格 ・住生活の変化と生活産業の関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活関連産業の職業や資格をしらべ、興味・関心を持つことができる。 ・インテリアデザインの意義と役割を理解できる。 ・住生活の変化を学習し、現代に求められる住生活の質について考えることができる。 		
7. 生活産業と職業 (ヒューマンサービス関連分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンサービス関連産業の職業と資格 ・社会の変化とヒューマンサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉、社会福祉、幼稚園教諭、ベビーシッターなどの従業者に求められる資格を知り、興味・関心を持つことができる。 ・我が国の社会福祉、介護、子育てに求められるヒューマンサービスについて考えることができる。 		
8. 職業生活と自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活と生きがい ・将来の生活と学業 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活が自己実現につながることを理解できる。 ・将来設計と進路計画について考え、学習の意欲を高めることができる。 		